

私は、政府があるため、現在の不安定なMaungdawの治安部隊、アラカンが設定されていることを聞いたことがあります。

ベンガル語ロヒンギャテロリストが家を燃やし、政府、警察、女性やマウンアウン、アラカンの子どもを含む罪のない人々を殺している。

Laywaddy更新されたニュースによると、30以上の村が銃を保持しているベンガル語ロヒンギャテロリストによって焼失した。

現在Maundawで政府軍兵士と真剣にそこに戦っている。

移行部で働いている政府の役人によると、マウンDAWで95%ベンガル語イスラム教徒とButhidaungの85%は、ある

非常にだけ離れてNarf川、バングラデシュに近い国境地帯れています。

ので、ロケット、人口増加とBangaliイスラム教徒の不法移民の膨大な量の、地元の人々とベンガル語のイスラム教徒の間で異なる多くの人口があります。

彼らは破壊され、解雇さ約100アラカンの村と1942年の紛争中にArakaneses数千人を殺した。1951年と1952年から始まった、彼らはMaungdawとButhidaungを占有しようとすることでイスラム国家を構築しようとしました。

"ロヒンギャ"という名前は、最後の50年前に存在に入って来て、ここ数年、よく知られるようになりました。

すべてのローカルおよび国際的なジャーナリストは歴史的背景とアラカンのArakanesesの現在の状況を学ぶことを奨励するように私はしたいと思います。

私の視点では、ジャーナリストが書いて明確に真実を理解する必要があります。

国際的な人々のほとんどが思うように、我々は我々自身の国家、アラカンの過半数ではありません。ベンガル語のイスラム教徒の人々はアラカンの過半数になる。

我々は、我々自身の状態で生き残るためにしようとする人々が苦勞している。

Maundawでは、状況は非常に危険であり、政府の公務員は、政府の建物に送信されます。

"Maungdawには十分なセキュリティはありません。ベンガル語イスラム教徒の村を囲むArakaneses村は非常に危険です。

状況が悪化し、夜に "地元の人々がマウンDAWを形成して言ったことがあります。

政府は手遅れになる前に、市民の安全のために完全に責任を取る必要があります。

私はそれがすべての問題の根本原因であるとして "ロヒンギャ"を研究する特別委員会を形成するために国際社会に提案したいと思います。

結論として、私はすべてのローカルまたは国際的なジャーナリスト、作家、ソーシャルワーカー、そして指導者や放送を要求したいと思います

それはルワンダのような大虐殺につながる可能性があるとして、メディアは "ロヒンギャ"問題に関する簡単なコメントを与えてはいけない

